

介護者のみなさん!!

介護の悩み、ひとりで抱え込んでいませんか?

必要な時にショート
ステイが取れないわ~。

同居家族がいて、
生活支援が
受けられな~い。

制度がややこしいなあ。
変わりすぎるよ。

認知症が
進んできちゃって...
どう介護していけば
いいのかなあ。

特養を申請しているけど、
いつになったら入れるの?

最近、自分の時間が
とれなくて...



そんな時は...

家族介護者交流事業に参加してみませんか?

在宅で介護されている介護者の皆様を対象に、当事者同士の交流と情報の共有で、心身のリフレッシュを提供します。(隔月年6回実施)

介護者は、まず自分の健康を!
一緒に身体を楽しく動かしてリフレッシュしましょうよ!



1泊2日の事業では、久しぶりの外泊で、夜は話が尽きず、夜中まで語り明かしました!!

お申し込みは...
社協・生活応援センター
TEL.27-8886

あしたへのりしこ

命

このリレーを始めたのは2005年2月でした。そこでは社中学校での1円玉募金についてふれました。「6年かけて先輩達が築いてきた活動の命、見捨てられ、見向きもされないことの多い1円玉に命を求め呼びかけ集めた・・・」

先日、国の「自殺予防緊急強化事業」の一環としての講演会を聞きました。今いる人と一緒にいられる幸せを呼び戻させていただけたいように思います。

「命の大切さ」は誰でもわかっています。しかし、人の命は追い詰められると脆いものです。脆い命を長い時間をかけて、あしたへ繋げていく一人ひとりのリレーが、今こそ必要になってきているのではないのでしょうか。
(増沢)

寄稿

知ってほしい

わが愛しの

偉^い星^{せい}人^{じん}

その67

バースデーケーキ

わが家のダウン症の息子、10月に7歳のお誕生日を迎えました。お兄ちゃんは10月に9歳になり、二人の誕生日は3日違いです。常に自分が一番と思っているお兄ちゃん。誕生日が弟よりも早く、母は良かったと思っています。誕生日会はもちろん合同で、二人の誕生日の中間あたりに、家族で行いました。何日か前から、ケーキの話題がでると「フー、する？」とうれしそうに聞いてきたり、「ハッピー・バースデー」のうたをうたったりと「ケーキが食べられる」「誰かの誕生日がくる？」と息子ながらに感じていたようです。

待ちに待った“ケーキを食べる日”、午後になると「ケーキ、フーする？」とケーキを発見してからしきりに聞いてくるようになりました。「まだまだ、ごはん食べてからだよ」と、この会話を何回したかわかりません。

いよいよごはんも食べ終わり、待ちに待った時間です。お兄ちゃんと2人、てきぱきと食べ終えた食器を片付け始め、明らかにいつもと違う機敏な動き、そして、お兄ちゃんとの連携、まわりの家族は目がまん丸になってしまいました。

お待ちかねのケーキがでてくると、「ピッ、する？」と電気のスイッチを指差し、「いい？」と、誕生日のお祝いを早くやりたい、そして早くケーキが食べたい様子です。わが家の偉星人は、おはなしが得意ではありません。ダウン症のこどもの発達もさまざま、おはなしが得意な子もいれば、苦手な子もいる、運動が得意な子もいれば、あまり得意でない子もいます。息子はおはなしが得意ではありませんが、ジェスチャーや表情で感情や思いを伝えることがとても上手です。



さてさて、ろうそくに火をともしると、「♪ハッピー・バースデー♪」のうたが始まりました。偉星人の独唱です。ニコニコとってもうれしそうです。自分で手を叩き、とっても丁寧に歌います。お誕生日のうたの人の名前はお兄ちゃんだけ。自分の名前はうたうことなく、うたは終わりました。「自分もお誕生日だとわかっていない？」と思いました。7歳のお誕生日を迎えたことよりも「ろうそくをフーして、ケーキを食べる」ことのほうが重要なのでしょうか。ろうそくを消す兄弟、残りの1本のろうそくをめぐるバトルが始まります。しかし、「けんかする人にはケーキあげない」の母の一言ですんなりと幕をとじました。

※編集にあたり、加筆・修正しております。

(下諏訪地区障害を持つ親の会 会員)